

## ギョウギシバ (行基芝)

名前の意味：行基いみ ぎょうきは奈良時代の有名なお坊さんの名前。なぜこの名  
つuitたのかはわからない。芝しばは、シバににてているから。

分類：単子葉類、イネ科、ギョウギシバ属

(イネ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい乾かわいた道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：シバのように地面をくきはう茎、シバのような葉、花のついた細  
い枝が斜め上に何本も出る花序かじょ (花の集まり)。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：離弁りべん、2裂れつ (小さくてよくわからない)

花の時期：6—8月

食べ方：食べられない

見分け方：シバは、花のあつまりが棒状ぼうじょうで、1本。シバは、地面を  
はう茎くきの節々ふしぶしから根が出るが、ギョウギシバは、先端部せんたんからは  
根が出ないことが多い。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度そうごうなんいど ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)